

2面・3面 巡回公演だより/夏まつりイベント/事務局よりご挨拶/人形劇講習会開催/新人紹介 ほか
4面 助成事業報告/都道府県クロスワード ほか

http://www.suginoko.org/
E-mail: support@suginoko.org



評議員稲坂良弘氏より公益法人の使命と激励を頂く。

新制度下の「公益財団法人」として 「新たなる出発」へ

たびだち

理事長
小澤 幸雄

☆公益財団法人としての「たびだち」

すぎのこは去る八月一日創立四十七周年を迎えた。と同時に、明治三十一年に施行され百年以上続いた公益財団法人の制度改革により新「公益財団法人」として移行認定され、新たなる出発を果たした。

☆公益法人は内閣府に一本化

公益法人の認可は従来各省庁の自由裁量によって行われていたが、新法では内閣府に「有識者による公益認定等委員会」を置き、準則主義によって認定されることになった。すぎのこのこれまでの主務官庁は文部科学省であり、これからは内閣府となったため、公益事業の幅も広げ、目的・事業・名称等も変更することとなった。

名称/公益財団法人すぎのこ 芸術文化振興会

目的/この法人は、舞台芸術をはじめとする芸術文化活動により、高度な物質文明に生きる人々のゆたかな情操の涵養と、創造的で国際感覚あふれる人間力を醸成し、より良い社会の形成と芸術文化の振興に寄与する事を目的とする。

事業/この法人は、目的を達成するために、次の事業を行う。

(1) 人形劇をはじめとする舞台芸術活動

(2) 芸術文化を主体とする国際交流活動

(3) 芸術文化活動及び自然体験活動に関する施設の運営

(4) 芸術文化に関する講習研修活動

(5) 芸術文化に関する教材及び機関紙の発行

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

※前項の事業は本邦及び海外において行うものとする。

☆これまでの公益活動

すぎのこのこれまでの主な活動は全国の保育園・幼稚園での巡回公演で、「どの子にもナマの舞台の感動を！」をテーマに活動を展開してきた。それはすぎのこが描く理想の子ども像「わんぱく(1)身も心も健康(2)旺盛な好奇心(3)溢れる行動力(4)豊かな創造性(5)優しさ」の精神を育成するためのもので、公演活動の他に自然を友とした「わんぱくクラブ」活動や子ども同士の国際交流活動等も展開してきた。

☆これからの公益活動

法で定められた公益目的事業は23事業で、すぎのこは今後以下の9事業を進めて行く。
②文化及び芸術の振興を目的とする事業

③障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業

④高齢者の福祉の増進を目的とする事業

⑦児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

⑨教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

⑭男女共同参画社会の形成その他のより良い社会の形成の推進を目的とする事業

⑮国際相互理解の促進及び開発途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする事業

⑯地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業

⑰地域社会の健全な発展を目的とする事業

☆目的を果たすために:
新制度下での公益法人には企業による寄附金損金算入限度額の増や、個人寄付金はある条件を満たせば税額から控除出来る等の特権が与えられた。それだけに移行認定は大変厳しい審査がある。
理想の子ども育成のために、そしてより良い社会実現のために、その特権を活かし、すぎのこ内外を問わず、創意性に満ちた人間力を結集して事業を進めたいと考えている。

「すぎのこ賛助会」への皆様の積極的な参加や、ご指導ご鞭撻を心から願って止まない。



どろぼうのなみだ 班

この作品を初めて演じた頃を振り返って思うことは、

○相手の人形の呼吸が少しずつわかるようになった。

声をかけるタイミングがバツチリきまると、何かスムーズに流れていくような、譜面に音符がのっていきような感じがでてきます。その感覚をつかむまでまだまだ修行が必要ですが、頑張っていくます。

○人形が勝手に動く

誰に言われたのでもなく、こうしてみようと考えてもいないのに、勝手に手が動いてきました。どんな気持ちで手が動いたのか考えて公演で実践してみたら、観客から良い反応があった時は嬉しかったです。

○舞台が終わると、私の配役を

知っていてお母さんおじいちゃん子ども達に言われた時はすごく嬉しかったです。一年でまた別の作品に切り替わった時に、違う役の性格や動きについていけるように頑張っています。

(後藤 佳世)

ねずみの嫁入り 班

巡回が始まってまだ1週間だが、もう既に様々な子ども

もの反応に出合ってきた。この芝居には、演じ手と観客のからだ共鳴し、うごめき合う、そんな空間を作り上げる魅力があるように感じる。

団扇太鼓を叩きながら歌って踊るチョボクレは、子ども達もお気に入りよく乗っている。中には飛び跳ねて踊り出す子ども

もいた。

歌詞の内容は必ずしも子どもに分かりやすいものではない。現在では死語になっているような言葉もある。それでも語感や日本語の美しさに感じるものがあるのだろう。

こういうリズムが子どもの中から響くのをみると、やっぱり日本の子どもだなぁと、



嬉しくなってしまう。

また逆に静かに見ている場合もある。反応が悪いのかと一瞬心配になるが、子ども達は真剣に集中して見ている。

この人形劇を通じて、これからどんな出会いが待っているのか。とても楽しみだ。

(高木 政則)

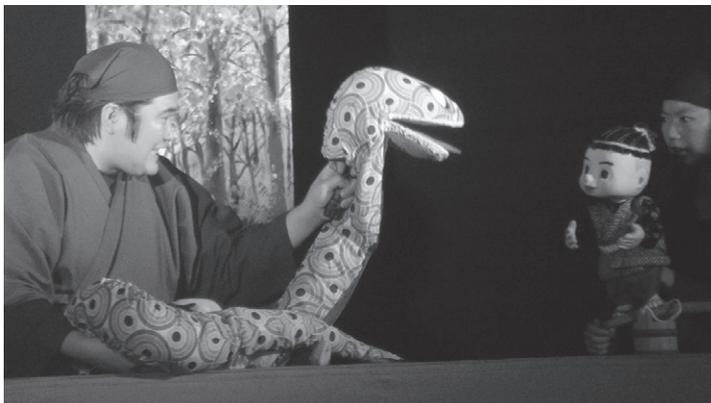


たのきゆうのうわばみ たいじ 班

今回初めての班責。そして何より、初めて1から作品

を創ることを経験した。今までは誰かがやったことがある作品を演じていたので、緊張と不安で押し潰されそうだった。(実は今でも不安でしょうがないのは秘密)

ただ自分達のやれることはし



つかりやったりし、子ども達の反応も上々だ。これからも、来年・再来年も演じられるこの作品の見本となるような、そして子ども達の心に残るような作品作りを心掛けて頑張っていきたいと思う。

(太田 令)

たにし長者 班

「たにし、知ってる。見たことある。」数人の子どもが

口々に答えました。私達の劇団の稽古場は、埼玉県県外の飯能市にあります。そこからまた山奥の幼稚園での公演でした。

田畑が少ない山林が広がる村ですが、名栗川というきれいな川が流れています。きつと、その川でたにしを見つけたのでしよう。たしかに自然がまだ残っています。豊かな環境の中で、

のびのびと子どもたちが育っている様子が感じられました。節電の夏でした。この園にはエアコンがありません。しかし夏の終わりの清涼とした空気が漂っていて、すがすがしい気持ちになりました。便利な豊かさの中で、自然に生かされて生きていくことを、私達はどこか忘れていくかも知れない。たにしというひとつの命に、人の思いやり、きずなを子どもたちが少しでも感じてくれたら、これ以上のうれしさはありません。

(榎本 均)

夏祭りイベント大盛況!

創造部 白石 高章

8月7日(日)、埼玉県越谷市のさなえ幼稚園の夏祭りの目玉として、すぎのこを呼んでいただきました。

当日は近くでゲリラ豪雨もあり、会場にも雨がパラパラ降りたり止んだりの雨模様。ところが後半、ぬいぐるみのモロコシとニンニくんが登場し、歌が始まったとたん、ピタッと雨が止んだのです!

みんなで懐かしい赤トンボや夕焼け小焼けなどの童謡を歌ったり、みんなが知っているアブラハムの音楽に合わせて踊ったり、子ども達だけでなく大人やおじいちゃんおばあちゃんにも楽しんでいただきました。最後には園長先生も一緒に踊ってくださり、すぎのこのお兄さんお姉さんも仕事を忘れてみんなで楽しみ、大盛況の内に終了することができました。

このようにすぎのこでは室内での人形劇だけでなく、屋外での着ぐるみを用いたイベントや、歌や踊りや手遊びなども交えた大きな劇場での催し物にも応じています。企画に困ったら、ぜひぜひご相談ください! みんなで思い出しに残る楽しいイベントにしましょう! きつと期待以上の笑顔が待っていますよ!



すぎのこの保育教材

保育者のための…人形劇じゃない人形劇

この本は、すぎのこが人形劇をもって全国の幼稚園・保育園を巡回公演する中で、人形劇を保育に取り入れている施設の先生達から受けた質問に、保育の場における人形劇の考え方を説いた指導書です。



お金をかけず、時間をかけず、それでいて効果的な人形や舞台、セットの作り方や使い方などを、イラストをふんだんに入れて解りやすく解説した保育者必携の書です。

著者／小澤アキラ 定価：2,000円(税込み)

地球環境を大切に作る絵本シリーズ

「とべ! ドードー」など巡回公演でもお馴染みの原作の絵本です。



定価：各1,500円(税込み)

日常の保育の中に影絵紙芝居を

影絵紙芝居とは、影絵でできた紙芝居です。大きさは一般の紙芝居と同様ですので、手軽に日常の保育の中に影絵の美しさを活用することができます。そんな影絵紙芝居の作り方をていねいに解説したDVDです。



「影絵紙芝居の作り方」DVD 上田順一／監修 定価：3,150円(税込み)

問い合わせ先…03(3984)2396 財団事務局

事務局よりご挨拶



清水 治

昭和39年8月1日に「劇団すぎのこ」が創立し、人形劇団として活動を開始してからちょうど47年目となる本年8月1日付で、当法人は特例民法法人(旧財団法人)から公益財団法人として内閣府より認定を受け、新たな出発を致しました。

創立以来受け継がれてきた「どの子にもナマの舞台の感動を」という基本理念は、今も私どもの活動の原点として生き続けており、これまで延べ75,000回超の公演を実施し、全国で7,444,000名余の皆様方に御観劇頂きました。これまで観劇頂いた皆様をはじめ賛助会員の皆様、今年度助成をいただいた日本芸術文化振興会様をはじめ日本宝くじ協会様等の補助・助成団体の皆様方へ心から御礼申し上げます。

公益財団法人の認定を受けるには事業の内容、財務状況や会計基準に関する大変厳しい審査を通らなければならない、また認定後も日常の財務管理から決算に至るまで、一般の企業とは比較にならない程の厳正な運営が求められます。「何故そこまでして公益財団法人格が必要なのか?」という質問を受ける事がありますが、私どもの活動は賛助会員の皆様や補助・助成団体の御支援、企業の御協賛等によって支えられており成立しているものです。従って今後も事業を継続し、更に新たな展開を遂行するためには、公益財団法人である事が絶対に必要であるといえましょう。

ところで、8月1日から「急に何が変わったの?」と言われてたら、私は「私どもの活動の基本理念は創立当時から何も変わりません」とお答え致します。

しかしながら、目的を達成する為の方法あるいは新たな事業の展開については、既成の概念をゼロにして、8月1日は「単なる人形劇団」が「人形劇を中心とした創造集団」として出発した日です、と自信を持ってお答えできるよう、現在すべてのスタッフが本気で考え、毎日の活動に取り組んでいるところです。

私どもが今後、これまでの活動の歴史と基本理念を守りつつ、時代の変化を的確に捉え対応しながら公益目的事業を健全に継続し遂行する為には、一人でも多くの方々に賛助会員として御参加頂く事が何としても必要です。

また、賛助会員は参加して頂く事自体に大きな意義がありますので、特別なメリットと引き換えに御参加頂く性質のものではございませんが、少しでも私どもの活動に賛同頂けたら、是非この機会に事務局宛てに御一報頂ければ幸いです。

これからも皆様の熱い志を心よりお待ち致しております。

人形劇講習会開催

7月30日、新潟県三島郡出雲崎町にある出雲崎保育園に於いて、地域の小学生を対象にした「人形劇教室」が開催され、当財団の下村あきらが講師として招かれました。



まずは、身近にある物を利用して簡単に作れるハンカチ人形を作りました。この人形は、紙コップが人形の頭、ハンカチが身体になり、半分にしたハンカチの端に結んだ菜箸を操って手を動かす人形です。



子ども達は、真剣な表情でコップに顔を描いて、個性豊かなハンカチ人形ができました。次に、軍手を使った軍手人形も作り、とてもかわいい色とりどりの人形ができました。



人形ができあがったところで、実際に人形を歩かせて、皆さんに挨拶したり、寸劇をしたりと、子ども達の新鮮な発想と笑顔の中で、楽しい授業が展開されました。

すぎのこでは、子どもから大人までを対象にした「人形劇講習会」をはじめ、「影絵紙芝居の作り方講習会」なども実施しております。関心のある方は、是非お問い合わせください。(下村あきら)

はじめまして どうぞよろしく〜!

新人紹介



片岡裕美子

この度すぎのこに入団しました、

「ずいてん」ツアー2日目。3才児と昼食を共に。「人形劇のおいちゃん」と盛んに話しかけてくる…ホントしあわせ!



高木 政則

8月からお世話になっております。たにし長者班、三ツ木孝輔です。子どもって、すごく素直で繊細で何気ない物事にも感動して…そんな子ども達と一緒に芝居のひとときを過ごせることを嬉しく思います。僕自身も子ども達と一緒に成長できたらと思います。



高橋 麻衣

8月からすぎのこに入りました。たにし班の高橋麻衣です。初めての人形劇で、まだまだ慣れないことばかりですが、子ども達に楽しい時間と思いを届けてもらえるように頑張ります。

これからは頑張りますので、よろしくお願ひします。



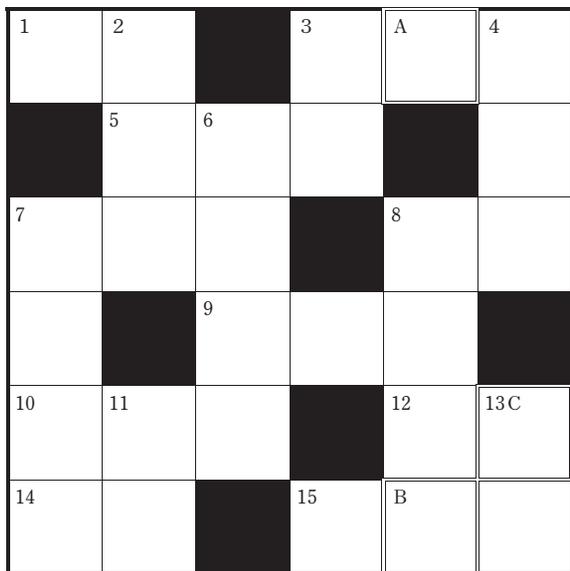
三ツ木孝輔

たのきゅう班の片岡裕美子です。入ったばかりでわからないことだらけですが、ありがたいことにすぐ現場に入れてもらえたため、直接体で覚えさせていたいただきます。

ヒョんなことで役者になった。舞台の裏方、木工作家…職歴は、片手を超える、61才の新人!

都道府県クロスワード

すぎのこは、日本全国を巡回公演のため旅しています。そこで、都道府県に関連したクロスワードを作ってみました！



カギ 今回は、19の都道府県がカギに加わっていますが、気持ちは全都道府県に込めております。

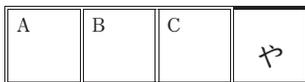
ヨコ

1. かんとう祭りの「かん」って何？ (秋田)
3. 乙姫さんに会いにいこう♪ (大阪)
5. 国内最大の生産量は今治市。(愛媛)
7. 博多いろは○○○をお土産に。(福岡)
8. 比叡○○と日光○○、表記も違う。(滋賀) (栃木)
9. 「夫婦」岩の読み、ところによって…。(三重)
10. 城のこと。(沖縄)
12. 石巻市では落ちそうで落ちません。(宮城)
14. 伊能忠敬って何をつくった人？ (千葉)
15. このそば、いくら食べても減らないよ！ (岩手)

タテ

2. オルゴールはやっぱりここ☆ (北海道)
3. 地獄谷温泉の常連さん。(長野)
4. 白兔がワニを騙してまで行きかけた所。(鳥取)
6. お好み焼きを食べるならこれ!! (広島)
7. 逆さ富士が見られる湖。(山梨)
8. 豊後富士が見られる温泉。(大分)
11. 能登半島の先端！ (石川)
13. 相撲人形、ポーズは4種類。→仕切り・昼寝・あくび・○○ (京都)

最後に、A～Cのキーワードをつなげて完成です！



☆皆様への思いを込めています。 ・Y・

正解者の中から抽選で、すぎのこの絵本を3名様に進呈します。

■応募方法

Eメール、ファクス、ハガキのいずれかで、①解答 ②住所、氏名 ③今回の季刊紙で良かった記事や感想などをご記入の上、下記へお送りください。なお、当選の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。締切りは10月31日(必着)

Eメール/ support@suginoko.org
 ファクス/ 03-3984-2264
 ハガキ宛て先/ 〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 事務局

日本芸術文化振興会の助成事業「どろぼうのなみだ」全国巡回公演が、二学期は東北地方を中心に順調に活動を継続しております。

今年度は地域によって震災による公演への影響も少なからずありますが、全国各地でもどんな小規模施設でもうかがって人形劇・影絵劇に親しんでもらい、子ども達の情操と創造性を育み、

地域における芸術・文化・児童教育に携わる方々の創造活動への人形劇・影絵劇の可能性を示唆する、という理念のもとに今後も事業を展開して参ります。

9月末迄の助成事業実施回数及び日数は次の通りです。

都道府県	回数	日数
埼玉	1回	1日
福井	17回	10日
石川	5回	4日
新潟	66回	37日
秋田	1回	1日
岩手	15回	7日
福島	2回	1日
青森	39回	18日
長野	1回	1日
富山	4回	2日
計	151回	82日

平成23年度 芸術文化振興基金助成事業



芸術文化振興基金 助成事業

孀恋研修センター 利用報告

「孀恋研修センター」では今年も自然とふれあう豊かな環境の中で、様々な活動にご利用頂いております。

夏休み期間中、ボーイスカウト目黒8団の皆様、ボーイスカウト豊島4団の皆様をはじめ、家族連れや友人同士の集まり等たくさんの方々にご利用頂きました。ありがとうございました。



孀恋研修センター

活動記録 (平成23年7月～8月)
7/29 第一期全国巡回公演終了
7/30 「人形劇講習会」開催 於・出雲崎保育園(新潟県三島郡)
8/1 「新たな出発の会」開催 於・メソセルバンテス(東京都新宿区)
8/7 「夏祭り」イベント参加 於・さなえ幼稚園(埼玉県越谷市)
8/21 創造部公開ケネプロ 於・飯能研修センター
8/24 第一期臨時理事会 於・当法人事務所
8/29 第二期全国巡回公演開始

すぎのこ賛助会入会へのお誘い

あなたのやさしさが 子どもの心を 育てます



すぎのこは子どもの理想像を「健康で好奇心が強く、行動的で創造性豊かな心のやさしい子」と定義し、その育成のため、創立以来活動を展開しています。

- 人形劇の巡回公演 ●劇場公演 ●舞台芸術による国際交流
- わんぱくクラブ・子どもの国際交流 ●講習会の開催・講師派遣
- 孀恋研修センター・飯能研修センターの一般開放

これ等の活動を支援するために設けられた賛助会に参加しませんか？

入会すると下記の特典があります。

- ・季刊紙“すぎのこ”を年4回配布
- ・すぎのこ主催の各種イベント(わんぱくクラブ、劇場公演 講習会 舞台稽古見学)等の優先参加
- ・孀恋研修センター(上信越高原国立公園内、宿泊施設わんぱくキャンプ場)の割引料金での利用
- ・すぎのこ飯能研修センター「ドリーム館」(埼玉県飯能市)の無料利用
- ・各種講師の紹介



会費制賛助会員		技能制賛助会員	
①賛助会費		②知識、技能、労力を提供する	
個人	年額 1口(3,000円)以上	個人	年間 3日以上
団体	年額 1口(10,000円)以上	団体	年間 5日以上

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 お問い合わせ/財団事務局

http://www.suginoko.org/ E-mail:support@suginoko.org
 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264